

学校を変える！ 学校を居心地の良い場所に変える！ 学校をより安全な場所に変える！

子どもの目線で物事を見て、考え、より良くしていくことが教育の原点です！

今年度も、子どもたちのために、これだけの修繕工事を実施しました！

2016 年も残すところあと 2 週間余り、平成 28 年度も残すところ 3 ヶ月余りとなりました。今年度も 1, 2 学期に学校施設の充実のために、修理・修繕を行ってきました。【5 月】①図書室屋根雨漏りの修理 ②校舎雨樋の修理

【7 月】③汚水槽修理 ④電気配電盤修理 ⑤汚水ポンプ①修理 ⑥汚水ポンプ②修理 【8 月】⑦上水道タンク・パイプ修理 【10 月】⑧ 1 階流し場の修繕 【11 月】⑨学校外周フェンス修理 ⑩外周フェンス有刺鉄線の修理

子どもたちの教育環境をより安全に、より快適にするために、いつも子どもたちの目線で考えて実行してきました。これらの修繕工事は、日本国外務省に申請し補助していただくようお願いをしております。



(写真上段左から：②雨樋、③⑤⑥汚水槽と汚水ポンプ、⑦上水道パイプ、⑦上水道タンクの蓋、⑦上水道タンク、⑨外周フェンス

写真下段左から：⑩外周フェンス有刺鉄線、⑩有刺鉄線と校門、①②③階屋根の雨漏り、雨樋、⑧ 1 階流し場、⑨駐車場入口、④電気配電盤)

上達すると楽しくなる！対局ができると嬉しくなる！だから囲碁クラブはやめられない！



12 月 12 日 (月) にローリー先生をお招きして、第 2 回目の囲碁クラブを開催しました。今回は前回の復習の後、実際に対局をしました。子どもたちは、もう囲碁に夢中です。

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために… (その 142)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 37

中野俊子先生が書かれたカラカス日本語補習校の歴史の 3 回目です。

■カラカス日本語補習校の歴史… (中野俊子) ■ ショントラル校には本当にお世話になったと言えよう。週日のシスター達の昼食時、食堂の手前の小部屋に置かせてもらっているコピー機で、講師がそれぞれ教材や作文集の印刷をしたことも数知れず、コピー機のインク漏れで床が損傷した時も快く対応していただいた。1975 年秋、全日制日本人学校が設立され、大部分の生徒がそちらに移行したあとも、帰国までアメリカン・スクールに留まるという生徒、ずっと現地校に在学する生徒など 30 人足らずの生徒のために、父兄の要望で小規模の補習校が日本人学校とは別にショントラルで続行された。人員減少のため、複式授業を余儀なくされたから準備が大変だったけれど、学年を異にする生徒が楽しく同じ教室で勉強したことは、彼らにとってもよい経験となったようである。約 1 年半おくれ、ショントラルが使用不可能になったのを契機として、この補習校は当時パジェ・フレスコにあった日本人学校に最終的に吸収され、全日制発足以来、未解決のままもやもやと持ち越されていた補習校の財産コピー機 (当時全日制にはコピー機がなかった)、図書 (全日制にはわずかしかなかった)、と少々の預金の去就が自然解決したのである。私はこの時点で辞任、日本人学校補習科の授業には初代校長と従来通り橋本氏があたられた。2 代山田校長が赴任されてからは、橋本氏のほかに同時派遣の山崎、寺田両先生が協力されたように思う。全日制に併合されてからは、当然、補習科の生徒の構成は長期滞在者の子女が中心となり、日本語学習のあり方も再考する必要性が増大した。 つづく